サンプル問題

六　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（句読点や記号なども文字数に含めます。）

これも昔、天竺（てんじく）に、身の色は五色にて、角の色は白き鹿一つありけり。深山（みやま）にのみ住みて、人に知られず。その山のほとりに大きなる川あり。その山にまた鳥あり。この※かせぎを友として過す。

ある時川に男一人流れて、Aすでに死なんとす。「我を人助けよ」と叫ぶに、このかせぎ、この叫ぶ声を聞きて、悲しみに堪（た）へずして、川を泳ぎ寄りて、この男を助けてけり。男、命の生きぬることをよろこびて、「何事をもちてか、この恩を報ひたてまつるべき」といふ。かせぎのいはく、何事をもちてか恩をば報はん。ただこの山に我ありといふことを、ゆめゆめ人に語るべからず。我が身の色五色なり。人知りなば、皮を取らんとて必ず殺されなん。このことをおそるるによりて、かかる深山にかくれて、あへて人に知られず。※しかるを、※汝（なんぢ）が叫ぶⅠこゑを悲しみて、①身の行くすゑを忘れて助けつるなりといふ時に、男、「これまことに※理（ことわり）なり。②さらにもらすことあるまじ」と、Ⅱかへすがへす B契りて去りぬ。

（『宇治拾遺物語』による）

※「かせぎ」…鹿のこと。　※「しかるを」…ところが。しかし。
※「汝」…あなた。　※「理なり」…もっともなことだ。

問1　二重傍線部Ⅰ・Ⅱの読みかたを現代かなづかいで答えなさい。

Ⅰ

Ⅱ

問2　波線部A・Bの意味として、最も適当なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

A　ア　急に　イ　以前に　ウ　すっかり　エ　今にも
B　ア　約束して去った　イ　約束して去らなかった
　　ウ　お願いして去った　エ　お願いして去らなかった

A

B

問3　傍線部①とありますが、何がどのようになることですか。具体的に現代語で40字以内で説明しなさい。

問4　傍線部②とありますが、何を「もらさない」と言っているのですか。最も適当なものをそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア　五色の鹿を、山で男が助けようとしたこと。
イ　五色の鹿を、山に男が隠していたこと。
ウ　五色の鹿が、山に隠れて住んでいること。
エ　五色の鹿が、川で水を飲んでいて流されたこと。

問5　文中で鹿の言葉にかぎ括弧（「　」）を付けていない部分があります。その部分の最初と最後の五字をそれぞれ抜き出して答えなさい。

～

問6　この文章は説話集『宇治拾遺物語』の一節です。説話集の作品を次から選び、記号で答えなさい。

ア　万葉集　イ　今昔物語集　ウ　枕草子　エ　雨月物語

【解答例】

①点×2　問1　Ⅰ　こえ　Ⅱ　かえすがえす
②点×2　問2　A　エ　B　ア
③点　問3　五色の鹿が、その存在を人間に知られたら、皮を取るために必ず殺されてしまうこと。
②点　問4　ウ
②点　問5　何事をもち～けつるなり
②点　問6　イ